

事務事業名	地域農産物高付加価値化推進事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課 (観光施設再生活用推進室)		
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光施設再生活用推進G	課長名	高橋 司	
	施策名	〈33〉地域資源を活かした産業の創出		担当者名	加藤 雄二		電話番号	0854-40-1054 (内線) 2432
	目的・対象	商工業事業所(者)	意図	新分野進出、新商品開発をする。				
	基本事業	〈095〉新分野進出・新商品開発の支援		予算科目	0:1:3:5:1:4 0:5:1:0:0:2	大事業名	地域資源・観光交流促進事業	
目的・対象	市内の事業所(者)	意図	新分野に進出、または、新商品を開発できるようにする。				中事業名	地域農産物高付加価値化推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市内の中小事業者並びに農事組合法人	地域の農産物を活用した商品の開発・製造を支援する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	審査会で事業計画を審査した上で、補助金を交付する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 公募及び審査会の実施 補助金の支払い	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 令和3年度の食の幸発信推進事業の見直しに伴う対応策として、食関連産業の強化策として本事業を実施することとした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 申請者	件			8	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
補助金	12,565千円	財源内訳	国庫支出金	千円			12,565	
消耗品費	55千円		県支出金	千円				
食糧費	3千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			58	
		事業費計		千円	0	0	12,623	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	地域の農産物の利用拡大ならびに機械設備導入による農産加工の高度化(新商品開発のための設備導入、ハサップ対応等)ができた。
② 事業実施するうえでの課題	コロナ禍で資材の調達が難しくなり、年度内での事業完了ができないと判断され、申請を取り下げられた事業者が1社あった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	コロナ交付金を使った単年度事業であるため継続実施はしないが、農産加工の高度化は重要であるので、国県事業の活用について、市として支援していく。